



校長室だより

きまがせ



令和5年11月14日
野田市立木間ヶ瀬小学校
校長 松藤 有里

楽しかった「150周年記念 木小フェスティバル」

11月11日（土）は、「150周年記念 木小フェスティバル」ということで、楽しい時間をみんなで過ごすことができました。

オープニングでは、校歌を歌った後にバルーンリリースを行いました。曇り空ではありましたが、色とりどりの風船が飛んで行く様子を見守る子どもたちの笑顔は輝いていました。



その後、体育館に移動して、学年ごとの学習発表がありました。ゆりの木、1年生、2年生の発表が、自分たちが頑張った作品を紹介したり、3年生、4年生が、Chromebook を活用したスライドショーを発表したりしました。150周年を迎えた木間ヶ瀬小学校の歴史をまとめた内容もあり、今年ならではの取り組みでした。最後は、5年生、6年生の合唱です。10月に市内音楽会でも披露した曲ですが、ほかの学年や多くの保護者の皆様にも聞いていただけて、子どもたちも嬉しそうでした。

学年発表に続き、ふれあいグループ（1～6年生の混合グループ）によるウォークラリーです。リーダーを中心に校舎内外に貼ってある問題を解き始めました。問題の内容は、各学年に困んだものも多く用意されており、グループの中で教え合う姿が見られ、微笑ましかったです。



最後に全グループのリーダーが受け取ったカードをみんなで並び替え、「木間ヶ瀬小学校150周年おめでとう！」とみんなで声を合わせて言いました。



先生たちのお店は、どこも大盛況でした。それぞれの場所で条件をクリアすると、ビンゴカードにシールを貼ってもらい、2列、3列ビンゴで景品を選んで持ち帰りました。

PTA 本部役員を始め、バザー担当の役員の皆様には、前日も含め、当日の朝から、行事の成功のためにご協力いただき、ありがとうございました。

また、行事を盛り上げるため、当日、学校に足を運んでいただいた保護者の皆様にも感謝申し上げます。バザーや先生方のお店での収益は、記念行事や子どもたちの活動のために使わせていただきます。詳細は、後日報告いたします。